

犬・猫の飼い主の皆様へ

# 繁殖制限してますか？

保健所に持ち込まれる子犬・子猫が後を経ちません。  
毎年、数千頭の犬や猫が県内の保健所に引取られ、処分されています。  
不幸な命をこれ以上増やさないために、繁殖を希望しない場合は、不妊手術や去勢手術を行なってください。

## 多頭飼育は苦情のもと…

生れた子犬や子猫を全部きちんと飼うことは一般の家庭ではとても難しいことです。

能力を超えた多頭飼育は、騒音や悪臭苦情を招き、散歩も充分できず放し飼い状態になったり、更に子犬・子猫が生れたり悪循環のため、地域からも迷惑がられる存在になりがちです。

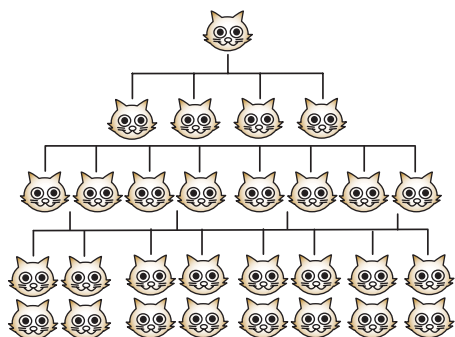


## あっという間に増えすぎて…

犬は年に1~2回、猫は2~3回、3~6匹もの子犬・子猫を十年近くの間産み続けます。

年に2回、1回あたり4頭生むとすると、1頭が一生涯に生む頭数は80頭にも上ります。

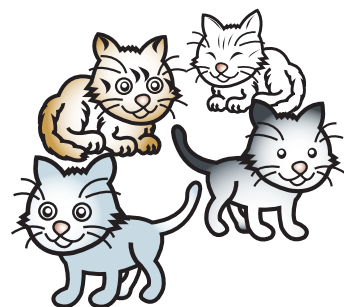
また、生れた子犬・子猫は約1年で妊娠可能となり、ほおっておくとねずみ算式に増えてしまいます。



## 不妊・去勢手術のメリット

メスは不妊の処置をすることで、危険な出産を繰り返すこともなく、子宮や乳房などの生殖器官の病気にかかりにくくなります。また、発情がなくなるので、オスが誘われて迷い込むようなこともなくなります。

オスは去勢することでオスとしての本能が抑えられるので、性格が穏やかになり、闘争、放浪、鳴き声等の問題行動の少ない飼いやすい犬になるといわれています。子犬や子猫のときに行えば、より効果的です。



生まれた子犬・子猫が飼えないなら…

**「産ませない！」飼い主の責任です。**